

は、昭和50年代までに製造された、自慢の愛車やオートバイが集結しました。県内外から予想を上回る参加があり、駐車場に納まりきれないレトロカーも出るほど大盛況となりました。



10月11日  
国東海道レトロカー  
ミーティング

国東海道レトロカーミーティングは、くにさき海浜公園駐車場で開催されました。

国東初開催となるレトロカーミーティングに



今回のイベントは、日本風景街道に登録された「別府湾岸・国東半島海への道」をより多くの方にドライブしてもらい、国東半島の自然や文化に触れてほしいと、国東市商工会観光部会の皆さんが開催を企画しました。



10月17日・18日  
国東半島芸術祭を歩く！  
ロングトレイルツアー

10月17日は、国東半島峯道ロングトレイルのK-1コースの中から、千燈プロジェクト周辺の見どころを厳選した約12キロのコース。どちらのコースも多くの人が参加し、国東半島の自然と文化と現代アートの融合をトレッキングしながら楽しむことができました。

駅くにみで「願いタコ石像設立5周年記念イベント」も同時開催されており、くにさき海浜公園一帯には、約4,000人も人が集まりました。

またこの日は、同駐車場内で、商工会青年部が偶数月に開いている「Kトラ市」と、道の



10月25日  
国東半島六郷鬼龍太鼓  
ゲリラライブ

10月17日は、国東半島峯道ロングトレイルのK-1コースの中から、千燈プロジェクト周辺の見どころを厳選した約12キロのコース。どちらのコースも多くの人が参加し、国東半島の自然と文化と現代アートの融合をトレッキングしながら楽しむことができました。

このコンサートを主催した成仏桜会の麻生拓之会長は、「去年、国東半島芸術祭でお世話になりました。今年もぜひ実現したい」と話していました。

このコンサートを主催した成仏桜会の麻生拓之会長は、「去年、国東半島芸術祭でお世話になりました。今年もぜひ実現したい」と話していました。



11月1日  
成仏ハンドレッドライブ  
ハウスコンサート

成仏プロジェクト前の広場で、くにさきアートフェスタ2015の閉幕イベントとして、「成仏ハンドレッドライブ」を開催しました。

成仏プロジェクト前の広場で、くにさきアートフェスタ2015の閉幕イベントとして、「成仏ハンドレッドライブ」を開催しました。

# くにさきアートフェスタ2015で 開催されたイベント

10月10日から11月1日までの23日間に、くにさき芸術のまちづくり実行委員会に参加している各種団体が、それぞれの個性を活かしたイベントを開催し、アートフェスタを盛り上げました。

2015  
10-11 イベントカレンダー

- 10月7日…芸短パラダイムシフトアートプロジェクト
- 10月10日…国見町アートの谷の秋まつりスタート  
現代アート&峯道トレッキング
- 10月11日…国東海道レトロカーミーティング&開運！くにさきKトラ市  
さ吉くんバスツアー
- 10月15日…国見町アートの谷の秋まつり終了
- 10月17日…くにさき峯道ロングトレイルツアー (K-1コース)  
隠れキリシタン&日本風景街道ウォーキング
- 10月18日…無料バスツアー運行  
岐部子供獅子舞特別公演  
くにさき峯道ロングトレイルツアー (K-3コース)
- 10月24日…APU留学生交流ツアー  
現代アート&峯道トレッキング
- 10月25日…国東半島六郷鬼龍太鼓ゲリラライブ
- 10月31日…隠れキリシタン&日本風景街道ウォーキング
- 11月1日…無料バスツアー運行  
成仏ハンドレッドライブハウスコンサート  
くにさきアートフェスタ2015閉幕



そこで完成したのが、「タコツボペインティング」と「フォトラボエンドレスプリンティング」の2作品で、タコツボペインティングは、国東時間になんで「トケイソウ」を描き、フォトラボエンドレスプリンティングは制作期間中に撮影した写真を重ね合わせたものです。2作品はアートフェスタ期間中に「ノダシード」で公開されています。



アートを通じて地域振興に取り組む県立芸術文化短期大学デザイン科の於保政昭ゼミの学生10名が、滞在型施設「ノダシード」に10月7日から15日までの9日間滞在し、制作過程を公開する「パラダイムシフトアートプロジェクト」に取り組みました。



芸短パラダイムシフト  
アートプロジェクト

毎年、春と秋の2回開催されている国見町工房・ギャラリー巡り。12回目となる今回は、市内在住の作家19名と、招待作家13名が様々なジャンルの作品を展示していました。今回、ギャラリー通りを訪れた方々に楽しんでいただこうと、白い手ぬぐいにスタンプを押して回る「手ぬぐいスタンプラリー」も行われました。各工房やギャラリーにはそれぞれ絵柄の違う「手作りの消しゴムハンコ」のスタンプが用意されており、世界にひとつの「マイ手ぬぐい」を作ることができました。期間終了後も、アートフェスタを盛り上げるために、11月1日までの土日にはワークショップを開催しました。



10月10日  
国見町アートの谷の  
秋まつり

毎年、春と秋の2回開催されている国見町工房・ギャラリー巡り。12回目となる今回は、市内在住の作家19名と、招待作家13名が様々なジャンルの作品を展示していました。